



2022年4月28日 第2472回例会
4月第4例会



RIテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

本年度会長テーマ「新しい風と微笑みを」



「母子の健康月間」

◆ 会長時間 ◆

梶本会長



しろのうち
卓話者の城之内様、コロナの影響とはいえ、何度も延期になり申し訳ありませんでした。本日はよろしくお願いいたします。

4月は「母子の健康月間」ですので、最新の小児科についての現状をお知らせします。

小児科は子どもの総合的な疾患を扱う診療科です。対象とする年齢と扱う疾患が幅広いため、相応の知識が必要とされます。日本小児科学会では「0歳から成人するまで」が対象となっていますが、医療機関によっては「15歳まで」など上限を決めている場合もあります。医師数は約16,937人で男女比は約7:3です。小児科医療従事者が減少傾向にあるため、大変苦慮しているそうです。子どもの健康を維持するために必要な人材ですが、ハードワークでリスクがある仕事に対して医療報酬が低いなどアンバランスのため、小児科医になる人の減少に歯止めがかからない状態だそうです。国は医療機関のバランスを検討する必要があるでしょう。

母子の健康について、男性が多いロータリークラブでは子どもの健康を身近な問題として捉えにくく、ロータリーとして取り組む課題を見つけにくいかもしれません。また男性と女性では感じ方も違い、もっと女性目線で今後の課題を考える必要があると思います。

次年度は女性初のRI会長、ジェニファー・ジョーンズ氏ですから、母子の健康に対する支援の内容に変革が起こるかもしれません。またジェンダーギャップについても同様に、色々な問題提起があるでしょう。今後は、男とか女とかではなく一人の人間として評価していくことが求められる社会構造となるはずです。

最後に2つほどお知らせがあります。明日は当クラブ主催の14RC合同懇親ゴルフ大会です。香川(基)実行委員長を中心に設営スタッフの皆様には、朝早くから夜の懇親会までご足労をおかけしますが、よろしくお願いいたします。明日は、晴れることを願っています！

本日、4月28日(木)のカーブ戦ナイターで、「国際ロータリー第2710地区ロータリー奉仕デー in MAZDA スタジアム」が開催され、公共イメージ向上の一環として、マツダスタジアムのオーロラビジョンで「ポリオ根絶」CMが4月5日から5月5日まで放映されます。お手伝いで参加される方は、よろしくお願いいたします。

☒ 物故会員に黙祷

広島北RC 山本 忠男 名誉会員が4月20日(水)ご逝去されましたので、謹んでお知らせいたします(享年87歳)。

● 会務報告 松岡(輝)幹事

☒ 次週5月5日(木)は祝日のため例会はございません。引き続きメイクアップの必要もございません。

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 片山委員長

本 日 (4月28日・木曜日)
 会員数 86名 出席者 67名
 欠席者 19名 ご来客 0名
 ご来賓 2名 ゲスト 0名
 計 69名
 4週前の例会2022年3月24日・木曜日
 出席率 100%

※ 平原 次年度親睦活動委員会

次年度記念品 (誕生祝い・結婚祝い) アン
 ケートについて

※ 古本 次年度幹事

例会終了後、22階「ルミエール」において
 第2回次年度クラブ協議会を開催いたしますの
 で、理事役員及び各委員長は出席願います。

新旧引継クラブ協議会のご案内

と き 2022年6月9日(休) 18:00 ~

ところ 半べえ

交 通 ANAクラウンプラザホテル広島及び
 広島駅にマイクロバスを用意いたし
 ますので、ご利用ください。

(17:30頃発を予定)

会 費 8,000円

出欠のご回答は5月25日(休)までをお願いいたし
 ます。

● 会員記念日

👑 3月決算月おめでとうございます。

(21名)

部谷君	㈱広島銀行
吉井君	ひろしんビジネスサービス㈱
中川君	広島ガス㈱
新原君	㈱AFYS沼田自動車学校
柴田君	㈱柴田燃料商会
児玉君	(医・社) 仁和会児玉病院
土井君	㈱SANYO KOUKOKU
松岡(幹)君	㈱松岡製作所
上田君	上田昆布㈱
木本君	(有)吉島タクシー
中村(哲)君	カクサン食品㈱
森脇君	(宗)住吉神社
浜田君	浜田木材㈱
藤田(明)君	(宗)浄土宗浄国寺
坂田君	(有)を久
原 君	㈱やしき
荒川君	アイワ建設㈱
新本君	㈱ウィズソル
南條君	南条工業㈱
瀬崎君	広島電鉄㈱
武田君	戸田建設㈱ 広島支店



奥様お誕生日おめでとうございます。

(4名)

大本君	英子夫人
三浦君	美子夫人
諏訪(昭浩)君	香織夫人
柳原君	郁子夫人

● スマイルボックス SAA 井下君

😊 森脇君

4月5日(火)の中国新聞21面よりお伝えします。

「7年伸ばした髪 寄付へ断髪儀式」

小児がんや脱毛症で髪を失った子どもたちへ
 医療用ウィッグの材料として髪を役立ててもら
 おうと、佐伯区の石光さんから相談を受けた
 住吉神社が子どもたちの健康祈願も兼ねた「髪
 納め神事」を執り行われました。

「ヘアドネーション」への賛同の輪を広げる
 行いが新聞記事で広く伝えられました。

住吉神社のますますのご発展を祈念しスマ
 イルボックスへご招待します。

😊 大植君 (自主申告・金一封)

この4月から、一人娘が関東の大学に入学し、
 寮に入りました。早速、友達も沢山でき、楽し
 そうに暮らしている様子がLINEを通じて毎日
 のように送られてきており、親として、娘の
 成長を心から喜んでいます。

一方、家では妻と二人だけとなりましたが、
 噂には聞いていたのとは反対に、妻との会話が
 増え、新婚のころに帰ったような充実した生活
 を送ることができており、妻に対する感謝の気
 持ちは後から後から溢れ出てきています。

これから6年間、娘の授業料を支払うべく
 一生懸命働き、世の為人の為に頑張っていくこ
 とを、このたび決意したことを皆様にご報告
 し、喜びに満ち溢れた晴れやかな気持ちで金一
 封を出宝させていただきます。

● 卓話予告

日時	テ ー マ
5/19(木)	クラブフォーラム (30分延長) 担当：職業奉仕部門



誰一人置き去りにしない 教育を求めて

～岡山自主夜間中学校から
みえてくるもの～

(一社)岡山に夜間中学校をつくる会

理事長 城之内 庸仁 氏



ひと

「学び直し」の場あるよ

義務教育の勉強からやり直したい人たちのため、2年半前に「岡山に夜間中学校をつくる会」を設立し、自主夜間中学を始めた。現在、会の理事長を務める。生徒は10～80代の約200人。貧困に苦しんだ人、不登校、在日外国人たちを、年齢や国籍を問わず無償で受け入れている。

「自分に自信を持てるようになりまし」た。この春から学ぶ40代女性の表情は明るい。耳が不自由でコミュニケーションも苦手。中学では満足に授業を受けることが出来ず、人生に絶望していた。女性が初めて来た頃、こう伝えた。「今から中学の復習をしたって恥ずかしいくないよ」。隣に座り、優しく語りかけるように教えた。心細そうな様子は少しずつ消え、最近はおしゃべりも弾む。「生きる希望を見つけてくれたかな」

昼間は岡山市内の公立中学教諭として英語を教える。活動の原点は不登校のまま卒業した教え子たちだ。10年ほど前、自身を頼って訪ねてきた彼らがこんな悩みを打ち明けた。「働きたくても文字の読み

「岡山に夜間中学校をつくる会」理事長 城之内 庸仁さん(42)

しるのうち・のぶひと 広島県生まれ。高校時代は平和や人権問題の勉強にのめり込んだ。大学進学を機に岡山へ。「ほとんどないですが」と笑う休日は海に行く。授業は原則、第2・4土曜の午後5時半～8時45分。岡山市北区壱町2丁目の岡山国際交流センターで。問い合わせは城之内さん(090・28662・4400)へ。



書きが難しく、計算もできん」自分のできることはないので、算数を勉強していた。「こんなか。考え始めた頃、2011年に東日本大震災が起きた。学習支援ボランティアで福島県の避難所に行き、自主夜間中学活動をしている人と知り合った。見学に行くと、幅広く運営方法を聞くなど準備を

「学び直ししたい人は岡山にも必ずいる」。自主夜間中学を開いている全国の先輩たちと運営方法を聞くなど準備を

——夜間中学の現状は
「無筆が恥ずかしい」と何人も前まで来ては入らず、やっとの思いで一歩を踏み出した高齢者がいる。「そんな恥ずかしい学校によく行くな」と知り合いにさげすまれ、傷ついた人もいた。今の社会は勉強をやり直そうという人々を「恥ずかしい」と決めつける偏見がまだ根強い。

——若い世代と高齢世代で違いがありますか

高齢者は貧しくて学校へ行けなかった人が多い。一方、若い世代は不登校や授業が理解できないなど、読み書きの力が十分身につかないまま中学を卒業した「形式卒業者」

「読めない」「恥ずかしい」

が目立つ。最近ではスマホの変換機能で字が書けるため、社会に出るまで書く能力の必要性に気がつくにくいようだ。

——運営は順調ですか
運営資金は寄付でまかなっているため、安泰とは言えない。教材は寄付や寄付金で購入した物を貸与している。寄付が難しくても、周囲に「こんなところがありますよ」と広めていただければ、困っている人に情報が届く。

——今後の活動は
「読めない」「書けない」ことは恥ずかしいと伝えたい。表に出ていない人をすくい上げ、同時に、公立の夜間中学設置を県や市に働きかけ続ける。

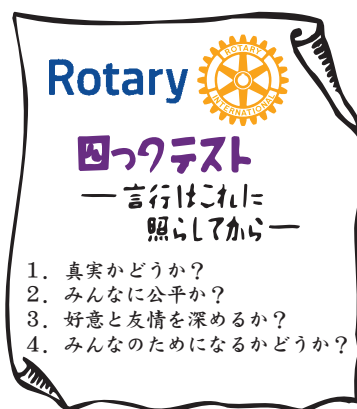
重ね、17年4月、岡山市内の貸し施設の一室で、1人で開校した。

チラシを配り、見よう見まねでホームページを作成して生徒を募ったが、誰一人訪ねてこなかった。「困っている人はほとんどいないのかも」。活動を続ける自信を失いかけた。しかし半年ほどして夜間中学に関する講演会を開いた直後から、不登校経験者の生徒や、活動を手助けしてくれる協力者が集まり始めた。

現在は月2回、土曜夜に元教員や大学生ら約160人が先生になって個別に教えている。年齢に関係なく学び続ける。それは、毎日を生きていくにつながっている。多くの生徒がそう教えてくれた。(華野優気)

る。登校できなくなっていた中学生が、手を震わせながら鉛筆を握る高齢者の姿を見て「やっぱり学校に行かなきゃ」と学校に戻った。そんな場面に遭遇するたび「多様な学びの場が必要」との思いが強くなる。

自身も変わった。小学校と特別支援学校の教員免許の取得を目指し、大学の講座に通い始めた。



例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 梶本 政明
幹 事 松岡 輝明

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索

